



吉分南地区の公園を考える

ワークショップニュース 完成記念3

平成20年4月
発行：生駒市

整備の準備もみんなで行いました！！

不要な樹木を切って、明るい公園にしました



砂利をあつめて再利用しました



第3・5・8・9公園の植樹もやりました！！

2007年6月10日、2008年3月2・16日に作業をしました！！
第3公園にサルスベリ、第5公園にカシ、第8公園にソメイヨシノ×3本、第9公園にエコ/キを植えました！
はやく大きくなるように、あたたかく見守ってくださいね！

第3公園



第5公園



第8公園



コミュニティパーク事業と自治会

吉分南自治会会長 徳永 俊治



当初、公園は行政がつくり、住民は
利用するだけのものと認識していました。
しかし、今回のコミュニティパーク事業で

は、ワークショップにより住民の意見を反映した計画案ができ、市の工事と住民の自らの作業により公園づくりあげられ、今では、公園に対する認識も変わってきました。実際、工事が始まり公園が変貌していくにつれ、住民の公園に対する意識が向上していく様子も伺えました。3月には、自治会で発足された「公園委員会」のリーダーシップのもとで、作業計画を立て、作業ワークショップを行うこととなりました。1日目は大人が中心となり、公園北側に防犯対策をかねた低いヒイラギを南側には高木を植樹しました。普段使わない道具を使っただけの作業であり、中には、お母さんがツルハシを振り回している姿を見かけ頼もしくも感じました。2日目は子どもの参加を呼びかけ、お父さんやお母さんと一緒になって芝を張ったり、花壇づくりをしたりと、土まみれになっている姿を見ると、地域住民が一体となって公園づくりをしました。

自分たちの手で作り上げることで公園に対する意識が変わり愛情が生まれたと実感しました。コミュニティパーク事業は、当自治会にとっては、会員間のさらなる親睦が図れたとともに、今まで利用しにくかった吉分第4公園を中心に、5つの公園を自治会あげて育てていくという想いが生まれてきました。